

年頭にあたり



鏡野町長

山崎 親男

町長年頭あいさつ

あけましておめでとうございます。

皆様方には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。さて、昨年は「偽」という文字に代表されるように、大手企業や老舗で相次いだ食品をめぐる偽装事件などが発覚し、利益のためには他人を顧みないという、嘆かわしい社会の一面をのぞかせた年でもありました。

そうしたなか、鏡野町におきましては、町総合計画並びに行財政改革実施計画に基づいた、調和のとれた町づくりを始めとして、地域経済の活性化や安全・安心な暮らしの創造、生活環境の整備などを進めてまいりました。

さて、本年も国や地方の財政状態が思わしくないことに加え、少子高齢化の進展、景気不透明という条件のもとで、大変厳しい自治体運営が続くものと思われま。

しかし、夢と希望を持ち続けること、そして町民の皆様とまちづくりへの想いを共有し多くの力が集まれば、必ずや明るい道を切り開くことができることを確信いたしております。それには、町民の皆様と行政が手を携え、限られた財政規模の中でより優先する施策を見極め、位置づけてまいりたいと考えております。

福祉施策では、民間の福祉と連携したサービスの提供と共に、変遷する医療制度への対応や、子育て支援を始めとした母子・高齢者対策を織り込んだ「福祉の森」計画を推進してまいります。また、自主防災組織の育成や安全・安心のネットワークの連携により、犯罪の予防と住民の安全を守る体制の強化に努めてまいります。

産業振興につきましては、安全・安心の農作物の鏡野ブランド化を推進するとともに、「匠」制度による技術の伝承や、多くの観光資源と施設を活用し、交流人口の拡大に努めてまいります。また、大型商業施設のオープンに伴う相乗効果を生むべく対策を進めてまいります。

さらに、津山広域圏での諸課題をはじめ、若者定住や地域間交流、男女共同参画社会の推進に努め、住んでよかった町、住んでみたい町を目標に、町民の皆様と共に取り組んでまいれる所存であります。

今後ともご理解とご協力をお願い申し上げますと共に、本年も皆様方にとって健康で幸多い年となりますよう、お祈り申し上げます新年のご挨拶といたします。

平成二十年元旦



鏡野町議会議長

西山 宣治

議長年頭あいさつ

あけましておめでとうございます。

平成二十年の年頭にあたり議会を代表いたしまして、謹んで新春のご祝辞を申し上げます。

町民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい初春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、景気の回復による税収増や、雇用の拡大などの明るい事もありましたが、社会保険庁による年金記録漏れ問題、食品偽装問題など住民生活に係る大きな社会問題が続いた一年でした。

平成十八年度までの「三位一体の改革」により三兆円の税源委譲が実現されたものの、改革という名のもとに今日まで、地方交付税が大幅に削減されたことにより、地方自治体はより厳しい財政運営を求められることになりました。

加えて、経済構造の変革により、地域間の税収格差がひろがり、「ふるさと納税」構想などにより格差の是正が急がれています。

また、地方分権改革により、独自性を発揮できる地域づくりが求められ、住民にもっとも身近な市町村の役割は今後ますます増大していくことが予想されます。

鏡野町においても、多くの行政課題が山積するなかで、合併以来歳出削減に懸命の努力をし、改革を推進して参りました。

本年も極めて厳しい財政運営を余儀なくされますが、町民生活に支障が生じることのないように安定的な財政基盤を確保し、町民の皆様の「信」を得て、十年後あるいは二十年後の鏡野町の将来を見据えた行財政改革を断行し、明日の時代を担う子供たちに自信と誇りを持てる町づくりを図ることが重要であります。

議会といたしましては、町民と行政が共に連携して行う「協働」による、より良い町づくりを目指して、議員各位とともに研鑽を重ね、議員は町民の代表者であるという認識に立ち、新たな決意を持って取り組み、住民福祉の向上に力を合わせて、努力して参る所存であります。

町民の皆様方の一層のご指導・鞭撻を御願い申し上げますと共に、本年も皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます新年のごあいさつといたします。

平成二十年元旦

合併後のまちづくりや、地方交付税削減などで厳しさを増す財政状況、地方分権改革や福田政権下で加速が予想される道州制への対応など市町村を取り巻く環境はますます厳しく、課題も増加しています。行政とともに地方自治の「両輪」となる議会の役割はますます重要性を増しています。